

えんがな報

45年 5月号

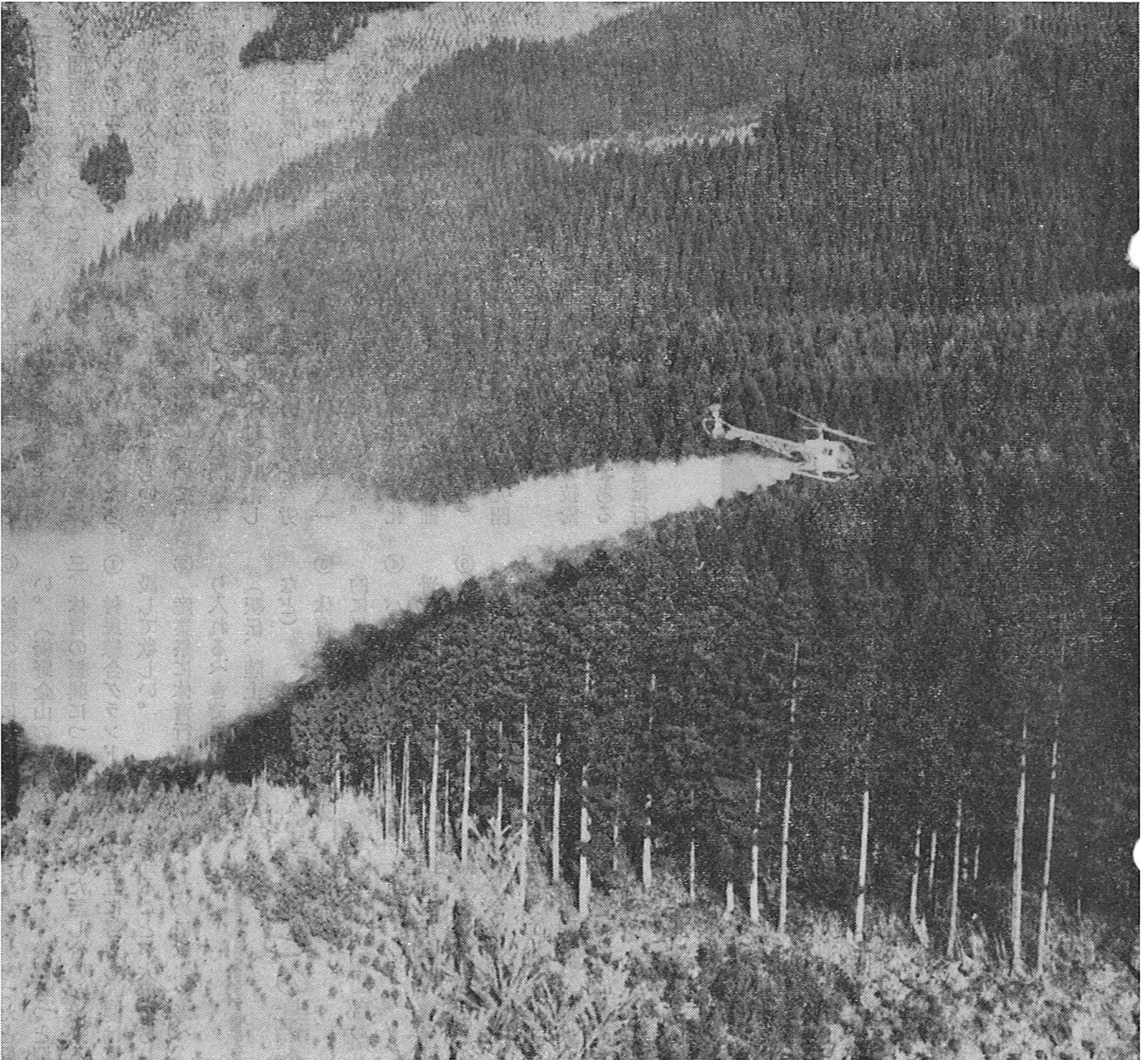
〔第84号〕

発行所

編集 発行人

大分県・日田・中津江村

川津一人



御協力に感謝

スギタマ防除

スギの成長に最も大敵といわれております「スギタマバエ」防除を去る四月三十日から実施しました。

連日の雨で計画通りに撒布が出来ず数日延びましたものの、気温の関係などから、スギタマバエの蛹化時期も遅れ、まず最適の時期に撒布が出来たものと確信しております。

実施期間における関係者はもちろん、山林所有者、一般村民の方の絶対の御協力に対し、厚くお礼を申し上げます。
(森林組合)

村の動態

4月30日現在

人口	3,531人
男	1,741人
女	1,790人
世帯	799戸

村長と村議を囲んで 青年団・婦人会の 懇話会開かる

村長と村議会議員と膝を交へ、現在の村政のあり方、

今後の問題点などについて話し合いをしました。

当日は特に婦人会代表も出席され、主婦の立場から真剣に話し合いが続けられました。

参加者は村長、教育長、村議会十名、青年団十二名、婦人会八名で、社会教育係の麻生先生がなごやかなムードの中で司会を勤められました。

当日の中心議題は

一、過疎対策と後継者の問題
二、産業の振興について
三、体育の振興について
でありました。紙面の都合で出された主な意見を列記しますと。

一、過疎対策と後継者の問題

① 中学校における進路指導（進学、就職）を適正にやつて欲しい（若い労働力が村にとどまるように）

② 青年が希望と生きがいを持つて働ける仕事と職場の開拓をして欲しい。

③ 後継者育成のための奨

学金制度を創設して欲しい。（実業高校進学）

④ 青年は開拓精神を発揮して、村づくりに自分たちから立ち上つて欲しい。

二、産業の振興について
① 村づくりは人の問題である。中津江村を開拓した先輩たちの努力と苦勞をしのび、村民の一人一人が奮起すべきである。

② 村の特産物の栽培を強化すること（わさび、椎茸、茶、こんにやく等）

③ ダムに関連した観光開発を進めること。

④ 林業開発のための技術導入をはかるべきである（現況では林業経営は行きつまる恐れ）

⑤ 鉱業の振興に期待したい。（梅野金山の発掘）

三、体育の振興について
① 村民総合グラウンドを建設して欲しい。

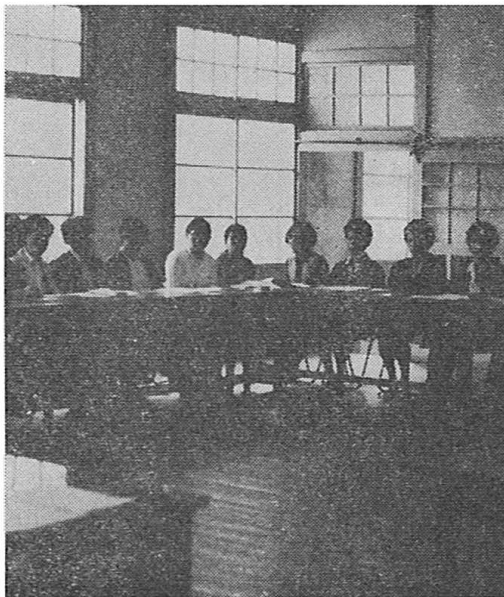
② 産業祭に体育行事を取り入れるべきである。（駅伝、陸上競技、球技など）

③ 体育協会の活動を積極的に推進して欲しい。

④ バレーボールを村内に普及させたい。

⑤ 新しく出来た体育館（へき地集会所）を大いに利用して欲しい。

以上おもな意見のみをまとめましたが、今まで縦のつながりはあつたものの、横のつながりということ、



大きな意義があつたと思われまふ。今後はもつと掘り下げた話し合いが出来るようお互に努力し、要は真実を知ることが大事であり、そのためにはよく考へ、卒

直に意見を出し合いたいものです。今後の話し合いは参加者全員、村を愛する気持が一杯にあらわれていました。

議会との話し合いに参加して

引野部落 長谷部 アヤ子

四月二十五日、青年団と

村議会議員が現在の村の有様や、今後の行き方をどうしたらよいかについて話し

合う会が開かれ、婦人会も色どりをそえて一緒に考へようという事になり、私も

参加しましたので感じた事を少し申し述べたいと思ひます。

話し合いは、今後の後継者対策、人口減少についての対策、村の産業、スポーツ振興等に対することでした。私自身、過疎現象は以前から気にかゝつておりま

したが、一人人がいくら気をもんだとて、どうしようもない大きな時代の流れにしたがつているのが現状と思われまふ。

こういう時、皆さんの御意見を伺っていると、他町村の例や、二、三の立派な御意見がありました。今日からすぐにも実行出来るものは見当らず少なからず淋しい気がしました。

ある議員さんが発言されていたなかに、「村民みんなが村政、村内の実情を正しく知つて貰いたい」といわれていたが、成程、村政のあり方を十分知らなくては

はどうして正しい意見が出されるものでないと、痛感しました。

村の方針、運営、経済面など村民全部が正しく知るための機会を設けるべきだと思います。

農委の抱負

サラリーマン同様の農業経営を

打越部落 五十六才

岩下大吉

一反一俵の掛声は夢物語りと消え去り、逆に米の生産調整という時代が来ました。「来るべき時が来た、いざ来い」、と力んで見て誠に面白くありません。

御承知の如く平坦地農業は全面的に機械力を利用した化学農業が経営出来るにしても、本村は谷川ぞいの農地がほとんどで、機械力利用は平坦地の三分の一位



しか出来ず、また収量も半分程度に止つています。

そこで、本村に適合した特産物を基幹作物とし、米作は出来れば自家用程度に止めて行くべきかと思いません。特産物のうち、椎茸は技術の進歩で殆ど年中栽培

(3)

出来るし、やり様によつては茶、蚕も三回とれる立地条件ですから、高度の技術と強力な協力の力によつて

此の困難な時期を乗切ることができると思いますが。それはもつと農協を中心にした具体的計画を樹立し、農家も農協職員も一丸となつて生産販売に血の接続した行動をせねばならぬと思

ます。更に村当局も今一段の努力を仰ぎ出来れば消費地に本村特産物の直売所を設ける必要があるかと思

います。そして毎月農家には精算された現金伝票が農協から届けられるように

、ほんとに豊かな明るい山村農業の経営が出来るように全村農家の皆さんの御協力を得たいものです。

明るい村を

築くには

合鶴部落 五十三才

長谷部吉武

私は今度農業委員の一人として郷土の未来像を思いのまゝ記して見度と思いません。只今村民の大半の農

家は山林の有無に拘らず林業を兼業として生計を営んで居り又鯛生金山の有形無形の経済的な恩恵、最近ダム建設による潤も東の間で時代は急ピッチにて山村の



生活も併て都市同様向上し

進歩する文化に併せて収入の拡大を計るは、必然的な問題ながら投資に対する収入は小規模的な本村の環境では営農上大きい壁に突き

当つた現状です。故に私達は今後如何に処す可きでしょうか、私は此の際村民の皆様方と津江の特産物につ

いて特に、林産物は比類なき生産適地であり最も高能力的に運営され、併せて茶、わさび、養蚕等本腰で

立村計画に資し度いと思えます。

暗い中津江村の農業に明るい朝は迎へられないものでしょうか。

村民の皆様方の御批判と今後の御協力をお願い申し上げます。

『おわかれの言葉』

麻生進

本村社会教育係として昭和三十八年から勤務され、広く親しまれてきました麻生先生がこの度、日田教育事務所に転勤されました。

誠実な人柄で、特に婦人会、青年団活動に全力を注がれ村づくり、人づくりに大きな足跡を残されました、村にとつては全く残念ですが、先生の御栄転に拍手を贈ると共に、更に今後の活躍を期待したいものです。



この度、社会教育指導員という立場で、日田教育事務所に籍をおき、日田管内の社会教育関係の仕事をしていただくことになりました。

回顧いたしますと、昭和三十八年五月一日付で中津江村社会教育係を拝命、以来今日まで満七年間、社会教育関係のお手伝いをさせていただきましたが、非常勤という身勝手な勤務ぶり

で、皆さまのご期待に沿うような仕事のできかなった

国民年金証書は

六月中に提出を

おじいちゃん、おばあちゃんをはじめ、福祉年金を受けているみなさん、五月の支払いは受けましたか。受けとつたらご面倒でしょうが、国民年金証書を役場に持参してください。

本人が手続きにいけないときは代理の方でも結構です。

この届は、ことしの五月から一年間、福祉年金を受けられるかどうかをきめたいへん大事な届です。

九月六日の支払日には年金がもらえるよう、役場でも手続きを急ぎます。しかし六月中に提出されないとまにあいません。

家族のみなさんも気を付けて必ず六月中に提出するよう心がけて下さい。

なお、福祉年金はことしの十月から、月二百円引きあげることを国会で検討されました。

はやく引きあがることを期待したいものです。

× × × ×

× × × ×

農協だより



第二十二回

通常総会開催さる

新組合長に 永瀬 勇氏

昭和四十四年度から中津江村が事業実施に入つておる山村振興事業の一環の農産物集荷所建築についてなど、提出議案全件が原案通り承認されました。

中津江村農協の正組合員三百四十名のうち、二百三十七名、準組合員五十七名の出席を得て慎重ななかにも活潑な質疑討論が行なわれました。

議案は昭和四十四年度事業報告から、昭和四十五年度事業計画に至る九件が提



(写真は永瀬組合長)

出され、そのうち特に組合自己資金増強について貯金及び出資増加に努力することが決定されました。

昭和四十四年度から中津江村が事業実施に入つておる山村振興事業の一環の農産物集荷所建築についてなど、提出議案全件が原案通り承認されました。

本年度は役員改選の年であり、次のとおり新役員が選任されました。

なお農協発足当時から一貫して理事に就任され、現在の農協に育て上げた児塔務理事長が退任されました。長期間にわたつての努力について感謝するものです。

新役員は次の方々です。

(理事) 塚本九州男、長

谷部光夫、永瀬勇、石川

幸男、中元直、矢野金男

津江孝男、武原弘、渡辺

親助、川野信男

(監事) 森脇茂、高木加

幸、川津一冬

五月九日役員会を開き、苦境のどん底にあえぎ、再

整備の指定をうけた組合を今日に盛り返した前組合長児塔務氏の労苦と情熱に対し、感謝状と記念品を贈呈することを決定しました。

役員会開催

専門委員選任

新組合長については互選により永瀬勇氏が組合長に選任されました。また農協

事業をより強度化し、真に農民と共に歩く農協運営のため、事業推進委員を次のとおり選任されました。新進気鋭の理事さんへの期待やまことに大であります

(敬称略)

(信用委員) 中元直、川

野信男、石川幸男

(共済委員) 矢野金男

塚本九州男、武原弘

(経済委員) 津江孝男

長谷部光夫、渡辺親助

く生産したいものです。

村民のみなさまへお願い

旧年度中は村行政、その他種々御迷惑の点について格段の御協力、有難う御座居りました。

さて 新年度を迎へますと共に、より一層の苦情をお聞かせ頂くことにより、

今年度は春先の気温が不順であつたり、遅霜などの関係から茶の芽の伸びが多少遅れておりますが、四月下旬から五月にかけての降雨でぐつと伸び出します豊作が見込まれます。

製茶工場の

運転を開始します

運転開始 五月十八日

加工賃(一K当り) 五十円

(地域外は五五円)

買入価格 (一K当り) 一級品百五十円から品質により格差をつけます。

商業統計調査がおこなわれます

六月一日現在

商業統計調査は、全国の商店をもれなく調査して、

商店数、従業者数、商品販売額、商品手持額等を業種

村行政の改善に力を注ぎ、住みよい村づくり村民のみなさんと一丸となつて邁進したたく存じますのでどしどしと御遠慮なくお申出下さい。

いつでも中津江村森林組合に窓口を開いております 中津江村行政相談委員 川良 停

調査は統計法にもとづく指定統計でありますから、個人の秘密は絶対に守られます。また、この調査を統計以外に使用することは堅く禁じられておりますので、

調査については調査員がおうかがいますのでよろしくお願ひします。

香典返し

先きに奥さんのツタヨさんを亡くした、城林部落の安達晋さんと、お父さんの源三郎さんを亡くした市の瀬部落の鷹野匠さんが、香典近しとして金一封を中津江村社会福祉協議会に寄附されました。本紙をかりてお礼を申し上げます。